

## 平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕		
プロジェクトの名称	「社会に開かれた教育課程」の地域連携モデル構築  ー領域横断・ICT・深い学びの授業ー		
報告者氏名・所属・職名	白川 卓	附属函館中学校	副校長
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	富尾 拓	附属函館中学校	主幹教諭
	郡司 直孝	附属函館中学校	教諭（研究主任）
	五十嵐義幸	附属函館小学校	副校長
	澤田 仁志	附属函館小学校	主幹教諭
	冬野 恒史	附属函館小学校	教諭（研究主任）
	中村 吉秀	教職大学院函館校	特任教授
	内藤 一志	函館校	教授
	山口 好和	函館校	准教授
研究内容及び成果の概要	<p>（概略）</p> <p>本事業では、漠然とした概念に留まりがちな「地域連携」「情報活用能力の指導」に関して、附属学校園と大学(学部・教職大学院)の連携場面(ラウンドテーブル)を設定し、その授業研究環境を一般公立学校へと提供できるモデルの構築を試みた。</p> <p>1) 情報化への対応問題に関して、校種間の協同的な授業研究基盤をもとにナラティブな課題理解を図る。</p> <p>2) 新学習指導要領の趣旨を含み、外面は教科学習として捉えつつ、中に「情報活用」要素を含むという複層的な学習活動の文脈形成を目指す。</p> <p>3) 量的な手法と質的な手法を適切に組み合わせるハイブリットな研究方法論を採用する。</p> <div style="text-align: right;"> </div> <p>（背景とねらい・成果）</p> <p>教員の職能成長を支える重点政策として、これまでに全国で45校の「教職大学院」が設立された。開設形態は各地域で異なるが、必ず根本にあるのは「学校と地域をどう結ぶのか」と「理論と実践の往還」という2つの理念である。これらの実現には、地域の社会経済的状況や文化的背景など固有の問題を基本に据えて、理論と実践をつなぐ方法論を考える必要があり、大学・教職大学院・附属学校の3機関が問題を共有して解決にあたることは、地域にとって最重要課題である。理論と実践の「往還モデル」を質的に保証するためには、具体的なカリキュラム構成、指導体制と方法、院生にとっての学びの実態把握などをシステムティックに捉える必要がある。</p> <p>本事業においては、附属学校での実践研究の蓄積を活かすとともに、「授業づくりラウンドテーブル」による大学・附属学校・大学院の連携場面を設定することで授業研究環境を整備し、一般公立学校の参考となるべきモデルの提供を目指した実践を行い、それらの成果を様々な視点から発表することができた。</p> <p>新しい学習指導要領の実施に向け、学習指導方法の改善とカリキュラム・マネジメントの具体的な情報を提供し、近隣公立学校の課題にコミットすることができた。また、附属学校・学部・教職大学院の授業研究手法をモデル化することにより、今後の教育実習の改善についての視点を明らかにすることができた。</p>		

## 成果の公表の状況

山口好和「地域理解を支援する学習ライブラリの整備状況」『日本教育メディア学会研究会論集 第45号』2018 pp. 33-36

山口好和「教師が授業づくりの中で考える〈児童理解〉—小学校専科教諭の事例から—」『北海道臨床教育学会 第8回大会』

山口好和「地域学習教材のマルチモーダル化に関する試み—ユニバーサルデザイン・プラットフォーム・オープンデータを手掛かりに—」『日本教育メディア学会第25回年次大会 研究集録』2018 pp. 32-33

中村吉秀・山口好和「教職大学院の学部卒院生が教育実習で学んだこと—数学・社会科の授業づくりを通して—」『平成30年度日本教育大学協会研究集会 発表概要集』2018 pp. 58-59

山口好和・中村吉秀「教職大学院・現職院生における〈授業理解〉の視点共有プロセス」『平成30年度 日本教育大学協会研究集会 発表概要集』2018 pp. 62-63

白川卓「『真正の学び』に向けた学習指導方法とは—雑誌『中等教育資料』の実践研究報告から—」『学校教育学会 第24回年会発表論文集』2018 pp. 16-17

郡司直孝「北海道教育大学附属函館中学校の取組と「中学校」としての役割」『学校教育学会 第24回年会発表論文集』2018 pp. 29-32

中村吉秀・山口好和「学校長が『地域』越しにとらえる学校経営のイメージ—『地域との関わり』に関する簡易アンケートをもとに—」『学校教育学会第24回年会発表論文集』2018 pp. 18-21

山口好和・中村吉秀「『社会に開かれた教育課程』の系譜(2)—雑誌『初等教育資料』2000年代前半の『地域連携』に関する事例報告から—」『北海道教育大学紀要(教育科学編) 第69巻第2号』2019(印刷中)

## 教育現場で活用可能な分野・教材等

「『情報活用能力』育成のためのカリキュラム表(2018.6.15ver)」

「ICTを活用した教育の展開～ChromebookによるG suite for education～(2018.7.24)」

「新たな時代 Society 5.0 を創る教育の展開～ChromebookとG suite for educationの活用(2019.2.27)」

「パナソニック教育財団 第43回特別研究指定校活動報告」

## 配布又はダウンロード可能な資料

### 問合わせ先

代表者：白川 卓

電話：0138(46)2233

FAX：0138(47)6769

mail：shirakawa.takumi@h.hokkyodai.ac.jp